

# 個人 11

受付	令和 3 年 11 月 25 日 午前・午後 9 時 00 分
----	------------------------------------

## 一般質問（代表・個人）通告書

令和 3 年 11 月 25 日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 芦原 美佳子

尾張旭市議会規則第 50 条第 1 項の規定により 12 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	1 回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 1	子育て支援の充実について
要旨	<p>本市は、「みんなで支えあう　すべての子どもがすくすくのびのび育ち、子育てしやすいまち尾張旭」を基本理念に掲げ、その実現に向けて様々な子育て支援を展開されております。</p> <p>核家族化や共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、ライフスタイルや社会環境が変化する中で、希望される方が安心して子どもを産み、育てられる子育て支援の充実は、少子化対策や児童虐待防止にもつながり、大変重要です。保護者の仕事の有無にかかわらず、安心して子どもを産み、育てられる更なる子育て支援の充実を目指し、以下伺います。</p> <p>(1) 育児休暇取得時のきょうだいの受入状況について</p> <p>(2) 一時預かり事業（一時保育）の現状について</p> <p>(3) リフレッシュのための子育て支援について</p> <p>(4) リフレッシュで活用できる一時預かり事業について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項	飼い主のいない猫対策について
No. 2	
<p>コロナ禍で在宅時間が増えたことに伴い、癒やしを求めて新規でペットを飼い始めた人が増えているとのことです。ペットが家族の一員として生活に喜びと癒やしを与えてくれる一方、無責任な飼育放棄や虐待などが社会問題になっています。野良猫をめぐるトラブルも発生していますが、野良猫（飼い主のいない猫）は、もともとは、迷子になってしまった猫や人間の勝手な都合で捨てられた猫とその子孫などです。動物の命を守ることをはじめ、地域のトラブル削減や生活環境の向上を目指す観点から、「飼い主のいない猫対策について」本市の現状や、飼い主のいない猫を増加させないための今後の取組について伺います。</p> <p>（1）飼い主のいない猫の現状について            ア 苦情・相談の状況について            イ 対応について            ウ 保護活動をしている市民の協力について</p> <p>（2）地域ねこ活動の支援について            ア 現状について            イ 猫避妊等手術費補助の増額や要件緩和について            ウ 謾渡会の支援について            エ 地域住民の理解を広げるための取組について</p> <p>（3）クラウドファンディングの活用について</p>	

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 3	女性の視点からの防災・復興について
要旨	<p>自然災害が激甚化、頻発化する中、東日本大震災をはじめ、これまでの災害における意思決定過程や避難所運営等への女性の参画が不十分だったことから、女性と男性とのニーズの違いなどが配慮されていないことが問題視され、男女共同参画の視点の重要性が指摘されてきました。昨年5月に内閣府男女共同参画局が「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」を公表し、同時期に国の「防災基本計画」も修正されました。本市の第2次男女共同参画プランでは、地域防災における男女共同参画の推進が重点施策となっておりますが、地域の防災力向上を図るために女性の視点からの防災・復興の取組は必要不可欠です。そこで、本市の現状や今後の取組について伺います。</p> <p>(1) 防災会議における女性委員の参画について 現状と今後の推進について伺います。</p> <p>(2) 防災担当と男女共同参画担当の連携について 防災基本計画には地方公共団体において防災担当部局と男女共同参画担当部局の連携体制の構築や災害対策本部に女性職員や男女共同参画担当職員の参加等の促進されるよう周知するものと言及されています。双方の連携・協働はとても重要であると考えますが、本市の現状と今後の取組について伺います。</p> <p>(3) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の活用について 令和2年5月に作成された「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」また、その内容に基づき、災害の各段階において、女性の視点に立って取り組むべきポイントや事例を学ぶ「災害対応力を強化する女性の視点」実践的学習プログラムが、本年5月に作成されました。これらの活用について見解を伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。